

公民館だより なかがわ

第475号

令和4年6月7日
発行 中川地区公民館
TEL. Fax : 679-2501

「令和4年度中川粋いき倶楽部」開講式

5月27日(金) 令和4年度中川粋いき倶楽部の開講式が、中川地区公民館集会室で開催されました。今年度は会員23名での活動開始となります。

開講式では、初めに、山田館長の挨拶後、来賓の地区会長会 松田勝巳会長よりご挨拶を頂きました。続いて、昨年度の事業報告・今年度の予定・予算案の承認を頂き、各地区の班長さんの選任を行いました。

後半は、上山市教育委員会生涯学習課の荒木雄之 文化財専門員を講師にお迎えし、『中川地区の山と水の歴史』のテーマで特別講演を開催いたしました。荒木さんは中川にゆかりのある方で、中川小学校で教諭としてご指導される中、中川の歴史についても研究されていたそうです。中川には素晴らしい歴史がたくさんあるということで、興味深いお話をたくさんして頂きました。会員の皆さんもうなずきながら聞き入っている様子で、中には知っていることをお話して下さる会員さんもいて、中川を振り返る充実した時間となりました。

粋いき倶楽部は年9回の事業が開催されます。コロナウイルスの影響で、昨年のように変更・中止等もあるかもしれませんが、感染予防に努めながら、皆さんの学びの場を少しでも作れるようにしていきたいと思っておりますので、多くの会員さんの参加をお待ちしております。今年度も一緒に楽しく学んでいきましょう。



防犯協会中川支部総会



5月17日(火) 防犯協会中川支部総会が開かれ、木村雅美支部長の挨拶に続き、来賓として高橋 義明議員よりご挨拶を頂きました。その後、上山警察署駅前交番の武田 蓮巡査より上山市の犯罪状況など貴重なお話を頂戴しました。防犯協会では、毎年独自に「防犯診断」をおこなっています。『自分達の地区は自分たちで守る』意識を持つきっかけになればと思っています。

女性学級きらい



5月20日(金) 第2回女性学級きらいでは、健康教室「モルック体験」が開催されました。残念ながら参加人数が少なかったため、公民館職員も入り個人戦で行いました。狙うとなか当たらない、難しい位置にあるのにピンポイントで当てたり、悔しんだり笑ったりしながらとても楽しい時間となりました♪

ウォーキング教室「やまびこ村クアの道」

5月24日(火) 第2回「やまびこ村クアの道」(山元地区)のウォーキング教室が会員12名の参加で開催されました。山元地区公民館の駐車場をお借りして、テラポイトの石井さんを先頭にいざ出発!!の前に、午前中のみ営業のふるさと直売所でワラビなど山菜をお買い物~♪仕切り直して、山元地区の自然の美しさに感動しながらウォーキング!!時折吹く風が気持ちよく、楽しい時間を過ごすことができました♪





第30回中川地区グラウンドゴルフ大会



5月29日(日)に令和4年度中川地区公民館体育部主催の「第30回中川地区グラウンドゴルフ大会」が開催され、一般の部27名、児童の部14名の皆さんが参加してくださいました。朝から暑さを感じるくらいの青空に恵まれ、館長の試技で競技開始です！一般チーム、児童チーム合わせて10チームに分かれて行われ、最初は緊張していた様子の子供達も、徐々に楽しそうな笑い声が聞こえてきました。初めて参加してくれた子供達もいましたが、プレーする毎に上手になっていました。一方、毎週のように公民館の広場で練習している一般の方々も、さすが！なプレー続出で、ホールインワンもたくさん出ていました。いつもとは違い、お孫さんや子供たちと一緒に参加することで、普段よりも楽しくプレーしていただけではないでしょうか？

お忙しい中、お手伝い頂きました体育委員、上山市スポーツ推進委員、子ども会育成会、放課後子ども教室コーディネーターの山川さん、そして付き添っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。来年度も開催できるよう公民館、体育委員ともに協力し進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



大会結果



一般の部

優勝 鏡 清明さん
準優勝 山田 雄一さん
第三位 齋藤 秀明さん

児童の部

優勝 小林 璃空さん
準優勝 鏡 沙羅さん
第三位 山田 零穂さん



中川地区食生活改善推進協議会主催 地区健康教室(講演会)開催

5月31日(火)中川地区食生活改善推進協議会主催の地区健康教室が開催され、一般8名、食改会員7名が参加し、「脳の健康チェックをしてみよう〜いつまでも若々しく元気に」というテーマで、上山市健康推進課 入野晶子主査より脳活動測定をしていただきました。その結果を踏まえ、毎日の食事・ちょっとした脳のトレーニングの大切さを学びました。



5月6日(金)中川地区会長会の際に、4団体による説明会が行われました。各説明内容は以下の通りです。

◎上山市社会福祉協議会

…社会福祉協議会の主な事業について、及び福祉協力員の設置等の説明が行われました。

◎山形バイオマスエネルギー(株)

…再発防止対策を確認し、5/24(金)より試運転開始、本格稼働は6月下旬となる予定です。

◎上山市子ども子育て課…中川児童センターが6月より休館、令和5年3月で閉館となります。施設は蔵王っ子クラブで使用します。

◎山形放送(蔵王坊平ヒルクライム実行委員会)

…9/4(日)開催 午前8時~11時まで競技
高野地区から刈田駐車場まで25kmのコースです。

議会報告会

4月22日(金)、上山市内会場のトップバッターとして、市議会の議会報告会が開催されました。長澤議長以下8名の議員が3月定例会について報告しました。その後、質疑応答があり、24名の参加者は真剣に耳を傾けていました。議員の皆さんには、引き続き地域の声を拾い上げ、市民の生活向上に向けた活躍を期待しております。





行事予定



- 6/1(水) 三者会、中川地区会長会
公民館運営協議会
- 6/2(木) 指定管理者監査
- 6/3(金) 第3回パソコンクラブ
- 6/4(土) 蔵王山頂清掃とつつじ祭り
- 6/7(火) 市報、館報、第1回自衛消防訓練
第3回女性学級きらり
- 6/10(金) 市公民館職員研修(職員不在時間帯あり)
防犯協会中川支部四役会
- 6/12(日) さわやかコンサート(中川小学校体育館)
- 6/14(火) 第3回そば打ち教室
- 6/16(木) 笹巻き宅配事業 笹巻き作り
- 6/17(金) 笹巻き宅配事業 笹巻き配達
防犯協会中川支部幹事会
- 6/22(水) 中川福祉村だより編集委員会
- 6/24(金) 第2回粋いき倶楽部
- 6/26(日) 第3回ウォーキング(協会)

- 詩吟教室(火曜日) 6/7、14、21
- ピンポン愛好会(木曜日) 6/2、9、16、23
- スポーツ麻雀愛好会 6/11、18(土曜日)
6/23(木曜日)
- グラウンドゴルフ愛好会(月曜日)
6/6、13、20、27



単発講座

「マクラメ編み キーホルダー作り」



- 日時 令和4年7月1日(金)
10時00分~12時00分頃
- 場所 中川地区公民館 図書室または集会室
- 参加資格 中川地区民
- 定員 先着10名程度
- 参加費 1,000円
- 申込み 6月17日(金)まで、公民館へ電話か来館にてお申込み下さい。(定員になり次第、受付終了。)



体験講座

「コケテラリウム作り」体験会

- 日時 令和4年7月8日(金)
19時00分~20時00分頃
- 場所 中川地区公民館 集会室
- 参加資格 小学生から一般までの中川地区民
(※学年によって条件が違います。)
- 定員 先着15名
- 参加費 1,000円(1つ作成分)
- 申込み 6月24日(金)まで、公民館へ電話か来館にてお申込み下さい。(定員になり次第、受付終了。)

詳しくは地区回覧チラシを
ご覧ください!



行事予定



- 7/1(金) 市報・館報
三者会、中川地区会長会
公民館運営協議会、
路線バス対策協議会
- 7/8(金) 第4回パソコンクラブ
活動交付金審査委員会
- 7/11(月) 第2回体育部会
- 7/12(火) 第3回粋いき倶楽部(職員不在時間帯あり)
- 7/14(木~15金) 会長会研修旅行
- 7/19(火) 第4回女性学級きらり
- 7/22(金) 第4回ウォーキング(職員不在時間帯あり)
- 7/26(火) 第4回そば打ち教室
- 7/29(金) わんぱく広場
- 7/31(日) 中川地区夏の安全パレード

- 詩吟教室(火曜日) 7/5、12、19
- ピンポン愛好会(木曜日) 7/7、14、21、28
- スポーツ麻雀愛好会 7/2、30(土曜日)
7/14(木曜日)
- グラウンドゴルフ愛好会(月曜日)
7/4、11、19(火)、25

おめでとうございます

2022 春の叙勲受章者「瑞宝小綬章」 高橋 正之さん(甲石)

政府が4/29(金)付で2022年春の叙勲受章者を発表し、山形県関連者54人のうちの一人として、中川地区甲石在住の高橋正之さんが選ばれました。



写真は5/13(金)に山形市文翔館旧議事堂で伝達式が行われた際のもので、ご本人より提供していただきました。

高橋さんは、旧蔵王鉱山出身で、1965年に警察官を拝命され、県警警備部長や山形署長を歴任し、県内の治安維持に尽力してきました。退職後は県安全運転管理者協議会連合会専務理事や上山地区警友会会長を務めました。今も児童の安全を守る立哨活動を、自宅近くの通学路で10年以上続けています。「警察官としてもその後の活動も、誰かの幸せのためにやってきた」とし「評価してもらえたことをうれしく思う」と語って下さいました。これからの益々のご活躍をお祈りいたしております。

おらほの中川へ地域の話題シリーズ 第百六十四弾

「昭和考、問わず語り（その16）」

甲石地区 高橋 正之

〈陸軍の編成〉

我が父は、昭和十六年七月、臨時召集により弘前を設営地としていた第八師団の輜重兵（しちようへい）第五十七連隊に召入隊し、満州国牡丹江省綏陽（すいよう）県綏西（すいせい）において、ソ連国境で警備に当たっていた第八師団長の隷下に入った。輜重兵とは、兵士や物資の輸送に当たる兵士である。（以上は、平成二十三年九月、山形県健康福祉部福祉企画課《援護恩給担当》より受領した父の軍歴による）

陸軍の平時の基本組織は師団であった。師団は、独立して作戦行動ができる部隊で、主力となる歩兵部隊のほか、砲兵部隊、騎兵部隊、工兵部隊、輸送部隊、医療部隊などを備えていた。（写真は、我が父の従軍写真である。トラックが写っているところから、所属していた輸送部隊とみられる。）



一部の師団は、植民地や中国の要地に年限を決めて駐屯し、年限がくると他の師団と交替した。関東州租借地と南満州鉄道付属地の警備部隊は関東軍、北京郊外の駐屯軍は支那駐屯軍と呼ばれた。（当時日本では中国を支那とよんだ。）

師団の歩兵部隊は通常四つの歩兵連隊からな

っており、師団全体の人数は、平時は一万二、〇〇〇人程度、戦時は二万人程度だった。指揮官である師団長は階級では陸軍中将があたり、天皇から直接辞令を手渡される、国務大臣級の高位とされた。第一師団は、関東地方出身者で、第二師団は東北部出身者で、などと地域別に編成された。

歩兵連隊は、昭和改元段階で五十一あった。全国各地に駐屯地が設けられ、地元から徴兵された兵士はそこに住み込んで訓練を受けた。連隊の定員は平時で約二、〇〇〇人である。連隊長は大佐があたり、連隊長以下の将校は、数年ごとに転勤した。（古川隆久著「昭和史」）

山形県には、前述のとおり、霞城公園内に歩兵第三十二連隊があった。所属は、当初第八師団であったが、昭和十四年に第二十四師団へ所属変更となった。昭和十九年八月、沖繩戦線に派遣され、多くの戦死者を出した。蔵王鉾山で暮らしていた時、長屋の隣家だったSさんは、宮城県出身で沖繩に行ったと言っていたので、三十二連隊所属だったと思われる。

〈海軍の編成〉

海軍の部隊は、基地に相当する鎮守府と艦隊で構成された。昭和改元当時、艦隊は五つあり、鎮守府は横須賀、呉、佐世保の三つ、規模の小さい鎮守府として舞鶴要港部があった。連合艦隊というのは、軍事演習の際や戦時にいくつもの艦隊が連合して作られる部隊のことである。航空部隊については、陸軍、海軍がそれぞれ保有していた。また、陸軍も兵器や弾薬、軍服などの製造工場（工廠）を持っており、工場の労働者は兵士ではなく、工場として扱われた。ただし、軍艦の一部や軍用機、自動車は民間企業の製造を依頼していた。

〈軍の管理、指揮〉

軍の中央部には、軍隊を管理運営する機関として陸軍省、海軍省があり、軍備計画や作戦計画を立てる機関として参謀本部（陸軍）、海軍軍令部があった。それぞれの責任者は、陸軍大臣、海軍大臣、参謀総長、軍令部長である。いずれも中将、大将といった最上級の現役将校が天皇から任命された。陸軍大臣、海軍大臣（軍部大臣）は、内閣の一員で、昭和改元当時は軍の内部規定により、現役でなくても中将、大将であればよいことになっていた。しかし、実際には、現役以外の将校が就任したことはなかった。

また、国務大臣が天皇に正式に判断を仰ぐ場合は首相の同席が原則だったが、軍部大臣だけは一人だけでもよかった。これを帷幄（いあく）上奏権の独立と呼んだ。

参謀本部と海軍軍令部は、日露戦争直後に確立した統帥権という観念に基づき、天皇に直属していた。ただし、軍の内部規定により、参謀総長は天皇に直属して陸軍大臣と同格だったが、海軍軍令部長は天皇と海軍大臣両方の部下ということになっていた。

陸軍大臣が参謀総長を替えたくても、参謀総長自身の同意を得たうえでなければ天皇に申請することができなかつたが、海軍大臣は自分の一存で海軍軍令部長の更迭を申請することができた。ただし、満州事变後（昭和六年）は陸軍と同じ仕組みになり、軍令部長は軍令部総長と改称された。なお、戦時には大本営という陸海軍の統合司令部を設けることが可能だった。（古川隆久著「昭和史」）

（次回は、改元時の産業、経済状況などを記述する予定です。）